

百花繚乱

生徒会便り 第 4 号
令和元年 3月 4日発行

後期生徒会執行部お疲れ様でした。

いよいよ後輩の皆さんにバトンタッチする時期が来ました。来週は、新年度の生徒会役員選挙があります。中能登中学校独自の素晴らしい伝統を築いてもらいたいものです。

ここで、生徒会役員と委員長のコメントを載せましたので、ご覧ください。

生徒会長 家谷 叶翔

生徒会長になったとき、とても責任を感じました。でも、副会長であったり役員に助けられ何とか終わることができました。思い返せば、迷惑をたくさんかけたなと、思っています。一番思い出に残ったのはもちろん学校祭です。生徒一人一人が自主的に行動し、出来上がった学校祭は、僕の忘れることのない一生の宝物です。中能登中学校がこれからもあいさつ日本一の明るく、優しい生徒がいる学校であり続けることを願っています。

生徒会副会長 島田 祥

副会長になってからは貴重な経験ばかりでした。今までの学校生活、これからの学校生活ともに唯一の経験をたくさんさせてもらい、いろんな人に感謝したいです。

学校祭の準備ではいろんな人とコミュニケーションをとって、新しい企画に挑戦しました。

生徒会書記 叶田 慎之介

後期生徒会書記として学校祭やあいさつ運動に自主的に取り組むことができました。はじめは、何もわからずに大変でしたが、最後は自分が企画した案などが通り、学校全体を盛り上げることができたのではないかと感じました。後期生徒会の活動を通して学んだことを活かして高校へ行っても頑張りたいと思います。ありがとうございました。

生徒会書記 上野 菜湖

私は生徒会活動を通し、多くのことを学ぶことができました。特に、学校祭では、執行委員として短い期間の中で物事を進めていかないとけない重責の中、みんなでたくさんの意見を出し合い、協力し合い、仲間の大切さを実感できました。また、成功させることができた時は、今まで感じたことがないくらいの達成感を得ることができ、自信につながりました。これらの経験を活かし、高校でも色々なことに挑戦していきたいです。

生徒会会計 森 隼太

僕の中での1番の思い出は、後期の大イベントである学校祭です。初めて運営という立場になったこともあり、とても気合がはいりました。準備期間が短かったけれど、みんなで一生懸命1つ1つの作業を着々と終わらせていったので本番も練習通りにしっかりとこなし、最高の思い出をつくることができました。また、この学校祭で学んだ経験や知識を高校でも生かせるように頑張りたいと思います。

生徒会会計 島田 海奈

私が生徒会に入ってから活動で一番思い出に残っているのは、学校祭です。生徒会に入って係活動だけでなく、司会や運営を考えていくのがとても楽しかったです。生徒会のみんなで土日や放課後おそくまで残って考えを出し合ったのもおぼえています。土日にあつまってみんなで考えを出し合っているいろんなことを行っていくのはおもしろかったです。

図書委員長 松田 瑞生

委員会では初めは戸惑いや、初めてだからその苦労が多かったのですが、先生や委員の皆がたくさんのサポートをしてくださったおかげで、難しい課題にも全力で取り組むことができました。ありがとうございました。また、学校祭では何事にも積極的に参加し、最後まで手をぬかないことを心がけ、みなさんに楽しんでいただくのはもちろん、自分自身も楽しく参加できた学校祭だったと思います。図書委員長で成長することができました。

文化学習委員長 山辺 泰世

文化学習委員長になって、これまでの委員長の大変さを身をもって体験することができました。そして、一番の思い出は、学校祭の出来事です。成功させるための準備がとても大切なことがわかりました。また、執行部が一丸となって取り組むことができていたのでとてもいい学校祭になったと思います。また、委員会では、委員長としてまだまだ力不足でまとめきれなかったけど、これから二年生に頑張ってもらいたいです。

放送委員長 堀野 成朱

私は委員長になって、2つの事を学びました。まず、1つ目は協力です。放送委員は1人1人の仕事が多く、忘れる人もいましたが、みんなでよびかけると、忘れる人が減り、私は協力ということを学びました。2つ目は笑顔です。後期で行われた学校祭では、時間が足りなかったり、意見が合わずにギシギシしたりしたけど、誰かが笑顔になるとそれが連鎖していき、雰囲気がよくなりました。このように学んだことを今後の生活で生かしたいです。

生活交安委員長 小林 優人

僕は、生活交安委員長になって、毎朝のあいさつ運動から、だんだん返ってくるあいさつの声が大きくなってきて、毎朝立っていてすごくうれしかったし、やりがいを感じたし、これからももっと元気で爽やかなあいさつをしてほしいと思いました。また、学校祭では執行部としてたくさんの準備をしていくなかで、みんなの见えない所で支えてくれている人たちの大変さを学び、感謝しなければいけないと思いました。

環境美化委員長 甲田 悠莉

私は委員長をして、影の仕事の大切さに気付かされました。その仕事は大変なものばかりでしたが、みんなの役に立つ、みんなのためになると実感できるもので、そう思うととてもやりがいを感じました。そして、その小さな仕事の積み重ねで学校の軸が成り立っているのだなと思いました。だから、これからステキな中能登中になっていくように、挨拶や掃除などの日常活動を積極的に、丁寧に続けてほしいなと思います。

保健委員長 竹中 葵

委員長としての活動を通して、委員会をまとめることへの大切さを知れました。うまくまとめられなかったのに、先生が私を頼ってくれて、人に頼られることは、こんなにもいいことなんだなと深く思うことができました。委員会での学びを活かして、これからの将来に生かしていきたいなと思いました。

体育委員会 宮本 陸

僕は体育委員長として、委員会をまとめ、自分から積極的に委員会の仕事をすることができました。また学校祭では短い期間の中、他の生徒会執行部の方々と先生と一緒に夜遅くまで企画を考えるなどして、最高の学校祭になったことが印象に残っています。

給食委員長 下田 華美

わたしはこの後期執行部に入って、前にでることの大変さを知りました。その中でも一番大変だったことは、委員会で委員長としてみんなを求めたことです。そして何より、学校祭の準備のときみんなと協力してすばらしいものになったことがとても印象的です。執行部に入って学んだこの経験を忘れずに、今後の高校生活にも生かしていこうと思います。

新聞広報委員長 遠山 久瑠美

私は後期生徒会役員になれてたくさんの事を学びました。初めて委員長になったときはずっと戸惑いながらやっていたけど、委員の人と協力してできたので、いい委員会になったと思います。先生方などたくさんの人にサポートしていただきとても感謝しています。

ボランティア委員長 橘 亜依

私は、委員長をして責任の重大さを学びました。緊張したり、失敗したり、困ったりすることがたくさんあったけど、支えてくれる人がたくさんいたためすごく助かりました。優しい人がいっぱいいてくれたおかげで無事委員長を務めることができました。本当にありがとうございました。学校祭も準備とか忙しかったけど、その分思い出に残ったし、楽しかったです。

